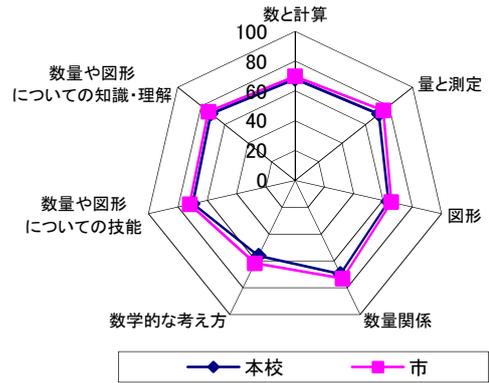


宇都宮市立岡本小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	68.0	69.8
	量と測定	71.3	75.2
	図形	63.7	65.7
	数量関係	69.6	73.1
観点別	数学的な考え方	56.1	61.7
	数量や図形についての技能	69.8	72.0
	数量や図形についての知識・理解	71.7	73.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・宇都宮市の平均正答率とほぼ同程度である。たし算・ひき算・かけ算の筆算については、ほぼ定着しているものの、文章問題や、乗法の性質を理解して、正しい式を選んだり間違いを指摘したりする問題では、市平均を下回った。	・朝の学習での計算練習を継続するとともに、家庭学習でも計算練習に取り組みさせることにより、力のいっそうの伸長を図る。かけ算やたし算などの計算問題だけでなく、大きな数に慣れさせたり、文章問題にも数多く取り組ませたりするなどして習熟を図る。
量と測定	・宇都宮市の平均正答率よりやや下回っている。重さの問題では市平均を上回り、ほぼ定着しているが、長さや時刻と時間の問題では市平均を下回り、定着が不十分だった。	・時刻と時間の学習をするときに、時計の模型を利用したり、長さの学習のときに、実際に計測する体験学習をじっくり行うなど、具体的な操作活動を取り入れながら習熟を図る。
図形	・宇都宮市の平均正答率よりやや下回っている。直方体の面については市の平均とほぼ同程度であったが、直方体の辺に関する問題で誤答が目立った。	・はこの形の学習をするときに、箱を実際に使って面や辺の数を調べるなど、具体的な操作活動を取り入れながら習熟を図る。
数量関係	・宇都宮市の平均正答率より下回った。口を使った式では、市平均より上回っている項目があり、内容によって、習熟の度合いの差が大きい。	・棒グラフの学習では、グラフの意味を理解させるだけでなく、読み取る問題を解いたり、グラフの意味を考える作業をしたりすることで、理解が深まるようにする。